

令和4年度 第4回堺市百舌鳥古墳群等史跡保存整備委員会 議事録

日時 令和5年2月27日(月) 午後2時～午後3時30分

場所 堺市博物館 地階ホール

出席者 委員(5人)

一瀬副委員長、禰宜田委員、中村委員、宮路委員、瀬渡委員

助言者 大阪府教育庁文化財保護課 北川技師

百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議事務局 土屋世界遺産補佐

傍聴者 2人

- 議事
- 1 開会
 - 2 議事 (1) 役員の選出について
(2) 『百舌鳥古墳群保存活用計画(案)』パブリックコメント
結果報告
 - 3 報告 今年度事業について
 - 4 閉会

資料 資料1 委員名簿

資料2 史跡百舌鳥古墳群保存活用計画(案)についてのご意見の要旨
と本市の考え方

資料3 史跡百舌鳥古墳群保存活用計画(案)

議事録

1 開会

事務局

- ・出席委員数が定足数を満たし委員会が成立する旨の宣告
- ・文化部長あいさつ
- ・配布資料の確認
- ・新任の委員の紹介（禰宜田委員・瀬渡委員）
- ・委員長、副委員長の選出
委員長：一瀬委員、副委員長：禰宜田委員
- ・助言者の参加について

2 議事

①『史跡百舌鳥古墳群保存活用計画（案）』についてのご意見の要旨と本市の考え方（資料2）

- ・資料2に基づいて事務局より説明。

一瀬委員長

まず私からですが、2番のタワー型施設の設置の要望がありますが、今大仙公園内に建っているタワーはどういう扱いになるのでしょうか。

事務局

大仙公園内には慰霊塔として建っておりまして、緩衝地帯にも入っております。したがって、建て替えの時期になりましたら、適切な建築物になるように庁内で進めていくことになると思います。

瀬渡委員

気球による上空からの百舌鳥古墳群の観覧はどうなっているのでしょうか。

事務局

百舌鳥古墳群の価値理解を進めるために、大仙公園内でのガス気球の工事を進めているところではありますが、ガス気球に必要なヘリウムガスの供給が滞っておりまして、整い次第、1年間の試験運行を実施したいと考えております。

試験運行の間に、世界遺産の顕著な普遍的価値に対する影響の度合いを計り、市民には百舌鳥古墳群を上空から観覧いただきまして、百舌鳥古墳群の価値を実感いただくような、そういう運行を目指して進めております。

禰宜田委員

4つ目の意見の、ビジターセンターと堺市博物館の位置づけについて、行けばそれぞれの場所がどういうガイダンスを持つ施設かというサイン表示のようなものはありましたでしょうか。多くの方はそこだけがビジターセンターというふうに認識しているから、こういう意見が出てきているのではないかと思いますので、もしそういうことであれば堺市博物館との連携といいますか、それをもう少しビジターセンターに行ってもわかるようなサイン計画などを考えていただけると、この4番の回答の仕方ももう少し工夫ができるのではないかと思います。

事務局

堺市博物館で行っている企画展等につきましては、ビジターセンターの方でもポスターやチラシなどでお知らせさせていただいております。

一瀬委員長

寺山南山古墳と履中天皇陵古墳の駐車場のところに車を停めて、周囲の散策をしてもらう用に、百舌鳥古墳群の大きな案内板の設置の話があったかと思いますが、それはどうなりましたか。

事務局

拝所前、ビジターセンター、博物館には大きな案内板の設置をしております。その他の公園内には博物館や古墳等の場所示した案内板を設置しております。

一瀬委員長

一般の方からすると、百舌鳥駅から降りてすぐのところに看板があったほうが、来訪者への導入としては良いかと思います。

事務局

整備基本計画の中で、そのあたりは考えていきたいと思っております。

中村委員

4点目のところは私も気になっておりまして、公園の散策の中で博物館へ行きたくなるような誘導・案内をするべきと思っております、もう少し博物館と古墳との連携をとれると良いと思っております。

宮路委員

公園内の案内については、以前の委員会でも話があったかと思いますが、表示の方法であったり、配慮であったりは今後進めていただければと思います。

一瀬委員長

タワー型の施設を建ててはどうかという意見については、スマホとかを利用して、上から見たら鍵穴形になっているというのがわかるようにしたら、タワー型の施設を建ててほしいという要望は減るかなと思いますが。

事務局

百舌鳥古墳群周遊ナビというアプリがありますので、実際にはそれをダウンロードしていただいて、周遊の際に活用してもらっています。GPSも使用しますのでアプリの中で、マップのどの位置を歩いているのかがわかるようになっています。

一瀬委員長

2番のような意見があるたびに、そのあたりをしっかりとアピールしていつもらえたらなと思います。

一瀬委員長

本委員会について、保存活用計画が見られるようになりましたが、委員の皆様これまでの意見等がしっかり反映されていますでしょうか。事務局の方は、これまで出た委員の意見は基本的にすべて記載されているのですよね？

事務局

はい、これまでに出了たご意見はしっかり反映させていただいていると思います。

一瀬委員長

231ページにあるモニタリング点検表について、これはどれくらいの関係者に配布したり、どれくらいの人がこの点検表に関わってくることになるんですか。

事務局

こちら例としていたすけ古墳が記載されておりますが、ここの観察点検表を活用しまして、毎月の古墳巡回は世界遺産課の職員が行います。巡回の内容は共有できるようにしていき、これを積み重ねることで詳細なモニタリングにしよう

うと考えております。

また、周辺住民の方々からは日々いろいろなご意見等頂戴しておりますので、世界遺産課が頂戴したご意見に対して対応していきたいと考えております。

一瀬委員長

あとはネットフェンスで囲われている丸保山古墳とか乳岡古墳とかありますよね。これらの古墳は要望があった時にフェンスを開けたりするのでしょうか。

事務局

住宅地に隣接しておりますので、常時開放することはできません。ただ、昨年度、古墳に登ろうというイベントを開催しまして、普段公開をしていない世界遺産の構成資産となっている古墳を開放しまして、その墳頂まで上がっていただいて、そこで学芸員が解説を行いました。

宮路委員

136ページに実際に活用を行っている場面の写真を掲載するという話であったかと思います。209ページあたりにももう少しいろいろな写真があっても良いのかなと思いました。

一瀬委員長

せっかくの保存活用計画なので、ホームページなどに記載する際に掲載しているイベントに行きたくなるような写真があれば良いですよ。

ちなみに、禰宜田委員、文化庁的にはどんな感じでしょうか

禰宜田委員

事前にいただいていたものを熟読しまして、大変立派なものを作られたなと思っておりますが、やはり第一印象として、活用の部分のボリュームが少ないというのは否めなくて、ただそれはこれまでの委員会で決めたことですので。今からまた文章や写真の追加というのはかなり厳しいかなと思いますが、活用についてはもう少しボリュームがあっても良いのかなと思いました。

ただ先に、私と瀬渡委員は今回が初めての出席となりますので、この保存活用計画の大枠と言いますか、他の計画と違う点などを簡単にご説明いただければと思います。

事務局

はい、基本的には章立てに則っておりますので、他の史跡と大きく異なる箇所

はないかと思えます。ただ、世界遺産ですので、その決議文が掲載されている点が異なる点かと思えます。

遺産影響評価の実施がありますのと、百舌鳥古墳群は19基の古墳が指定されておりますので、どうしても最初のところで記載しなければいけないことが多く、保存の箇所のボリュームが多くなっています。

今ご指摘のありました活用のボリュームの少なさですが、これは今後の計画も含めて対応していく必要があると思えます。

禰宜田委員

わかりました。世界遺産の記載に関して言いますと、古市古墳群の方はどうなっているのでしょうか。百舌鳥も古市も同じ世界遺産なので、計画の中で共通事項があってもの良かと思えます。統一的な活用であるとか、統一的な理念であるとか、そういったものがあると、これらの保存活用計画は他のものと差別化できるかなと思えます。大阪府はいかがでしょうか。

土屋

古市古墳群も同じタイミングで、保存活用計画策定を進めており、この3月に完成するよう、パブリックコメントを実施している段階です。今回も古市2市にご参加いただいておりますが、古市の委員会についても堺市にお越しいただき、内容については調整しながら、この2年間行ってきたと考えています。

世界遺産にふれるところでいえば、世界遺産の決議文は世界遺産としての価値・課題を端的に表す文章で、百舌鳥・古市ともに保存活用計画の中に掲載しており、今後取り組む政令基本計画にも決議文の課題を明記して、HIAも共通して取り込んでいるという状況と考えています。

禰宜田委員

ありがとうございました。

一瀬委員

保存活用計画について、保存活用地域計画にあるような市民への宣伝もふまえたわかりやすいダイジェスト版を作成するようなご予定はありますか。

事務局

こちらの計画は、概要版をパブリックコメントの時に作成しており、同時にHP上でも公開しておりました。

一瀬委員

この場にはないですね。

事務局

今日の配布資料にはつけておりませんが、概要版という形で広く配布を進めておりました。ただ、計画の骨子を記載するだけのものとなっておりますので、今後新規の写真を入れるなどして、PRしていけたらと思っております。

一瀬委員

そこに載せるのではなくて、こういうものが載っていますよという見出しだけで十分かと思えます。

事務局

ホームページにこちらの計画も掲載していくので、ご指摘いただいたページを加味して作っていきたいと思えます。

一瀬委員

ホームページを見るのを促すようなダイジェスト版をイメージしていました。他、いかがでしょうか。

瀬渡委員

今後10年にむけての大きな計画というのはあるのでしょうか。

事務局

保存活用計画の220ページに今後の計画の大きな流れの総括表を掲載していますが、今後10年のスパンでは今までやってきたことを継続していきたいと考えております。活用を含めたところでは、現在御廟表塚古墳の整備に着手しています。

古墳公開の活用につきましても、一古墳を整備するのに何年もかかってしまいますので、フェンスに囲まれてご覧にいただけない古墳も数多くあります。そちらについては、昨年より特別公開を始めていますので、その取り組みをこれからも継続していきたいと考えております。

一瀬委員

そのあたりの展望をダイジェスト版で出していただけると、市民への教育的な側面もアピールするようなものも入るといいかなと思えます。

禰宜田委員

213ページについて、水によって墳丘が侵食される場合に護岸工事や水位の引き下げを検討するとありますが、市が問題と認識しているなら、もう少しここは積極的な表現をされなくていいのでしょうか。

事務局

ありがとうございます。ここに記述のあるとおり、その侵食が問題であることは重々承知しておりますが、護岸工事一つをとってもなかなかハードルが高く、水位の引き下げも善し悪しがあるため、これらを検討しなければならないという現状を認識しているという記述にとどまっております。

いずれにしてもこのままではよくないので、どちらかの策を検討して着手するようにしたいと思います。

一瀬委員

以前の委員会の話でいえば、水を抜いたほうが古墳のためにいいのではないかという意見も出たかと思いますが、いたすけ古墳の保存運動の経緯があるので、地元としては水を完全に抜きたくないというのが、百舌鳥古墳群の総意になっているのかと思うので、なんらか水を湛えたままどうしていくかということを常に考える必要があると思います。周辺住民とのコンセンサスの問題にもなっています。

事務局

いただいた修正を反映しないというわけではなく、庁内とのコンセンサスを図っていく必要があります。

一瀬委員

ホームページに活動状況などは掲載しないのでしょうか。

事務局

保存活用計画が完成しましたら、これに基づいて進めていきますということは、ホームページに掲載します。

普及啓発活動なども終了しましたら、このような事業を行いましたと写真や参加人数などをホームページでご報告させていただいておりますが、今後充実させていきたいと思っております。

一瀬委員

そこを順次積み重ねていくと、次の活用計画をする際に楽になるので、是非とも進めていただきたい。

他になれば、2の議事を終えたいと思います。

3 報告

今年度事業について

- ・御廟山古墳の外来種の除去作業について、中村委員と相談しながら引き続き作業を行う。
- ・御廟表塚古墳の整備については、年明けから樹木の伐採をすすめる。
- ・大仙公園に設置するガス気球について、公園内での整備工事は終わっているため、燃料となるヘリウスガスが届き次第、運転していく予定である。
- ・歴史的風致維持向上計画第2期（案）の策定について報告した。

4 閉会